



生徒の活躍を見届けられる喜び

「努力は、必ず報われる」

校長 小林 義孝



四月八日、真新しい制服に身を包んだ新入生三二九名を迎えました。緊張した面持ちの中にも、これから始まる高校生活への期待を感じ取りました。その翌日には全校生徒が集う中で始業式が執り行われ、一〇九七名(男子部六九三、女子部四〇四)が新年度の第一歩を踏み出しました。昨年度に比べて生徒数は減少しましたが、一人一人の表情からは堅実で確かな足跡を刻み、誠実に実践を重ねるであろう雰囲気を感じ、歩みを見守ることにしました。

こうした中、新年度が始まって早々に安城警察署からの要請に応え「防犯パートナーシップ校」の委嘱を受けました。この委嘱は一年間の活動ではありますが、生徒により結成されたY.G.S.P.(ヤマモト・ガクエン・セイフティ・パートナー)のメンバーが防犯広報啓発活動に協力し、地域貢献活動を展開するというものです。具体的には、防犯キャンペーンや振り込め詐欺被害防止活動、自転車盗難防止活動などがあり、これまで駅周辺や大型商業施設でのチラシ配布等に積極的に取り組んできました。また、過日には高齢者の特殊詐欺被害防止を目的に、上級学校とのコラボによる親しみやすい『カルタ』も完成させました。期待通りの奮闘を見せる本校生徒の

頑張りを、しっかりと見届けることができています。

もちろん、実学を通じた専門的な学びも評価されています。昨年度は、すべての科で全国大会出場という快挙を成し遂げましたが、本年度もこれに続けと、早速ビジネス科が全国高等学校ワープロ競技大会に六年連続出場を果たし、佳良賞(全国十二位)を受賞しました。後輩が確実に育つ環境をうれしく思います。また、ファッションデザイン科では、NDKフレッシュユングテストで中日新聞社賞を受賞し、優秀賞の連続受賞を「六」に伸ばしました。一方、調理師科では六月に中学校の恩師に技術の進歩を見ていただきました。そして、今月中旬には調理技術コンクール(地区予選会)を控え、活躍が期待されています。校訓「誠」を旨に、真摯に取り組む生徒に朗報が届くことを願っています。

春になると一斉に花が咲くけれど、どの花も自分だけの生命力で咲いたのではない。春の暖かな陽射しと、豊かな土壌の恵みなど自然の恵みのおかげで咲いたのである。

生徒は、自分を育ててくれる見えない力(周りの支えや愛情など)があることを忘れることなく、自らを開放させるべく努めています。生徒の輝きは、自身の精進もさることながら、陰になり日向になり支えてくださる保護者の皆様(存在があればこそ)です。教師集団も生徒と正面から向き合い、身近で全力を傾けます。保護者の皆様には安心と信頼を寄せていただき、今後も変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

スタートの年

教育後援会会長 西 幸二



本年度、後援会会長を務めさせていただきと申します。山本理事長はじめ先生方のご指導と保護者の皆様のご協力をいただき、一年間一杯頑張りますので宜しくお願いします。

四月八日に行われた入学式に参列させていただきました。大勢の初々しい新入生を歓迎するかのようには好天に恵まれました。期待と不安が入り混じるやや硬い表情で入場した生徒が多くいましたが、先生方の温かな笑顔に迎えられ、少しほっとした様子でした。これから、三年間の高校生活が始まります。人生の大切な基礎を作り上げるときです。お互いを高め合いながら成長してほしいです。

さて、五月から令和元年がスタートしました。三年生は卒業後の進路に向け活動開始、二年生は資格試験にチャレンジ、一年生は新しい環境での生活が始まりました。入学にあたり抱いた意気込みや覚悟、心構えを決して忘れないでください。教育後援会が少しでもお役に立てるよう、山本学園の温かな先生方と協力し、「スタートの年」となるような後援会活動にしていきたいと思っています。

第67号
 発行者 山本学園情報文化専門学校 教育後援会
 TEL 0566-81-2151

| 令和元年度 教育後援会役員 | |
|---------------|--------------|
| 顧問 | 山本 直明(理事長) |
| 会長 | 小林 義孝(校長) |
| 副会長 | 鹿島 利夫(前年度会長) |
| 書記 | 西 幸二 |
| 監査 | 織田 賢一 |
| 第一ブロック長 | 磯谷 伸之(教頭) |
| 第二ブロック長 | 西 幸二 |
| 第三ブロック長 | 泉 美晴 |

向陽台全国総合体育大会

令和元年度向陽台全国総合体育大会が、八月二十六日(月)に開催された。この大会は、全国にある向陽台高等学校技能連携校十四校の総合体育大会であり、向陽台高等学校を主会場に、その他周辺施設を会場にして行われた。

本校は、六競技十二種目の全てにエントリーし、一〇五名の選手を派遣した。大会当日は、前日の夕立もあり暑さが幾分和らいだ好条件の中、各校の選手が熱戦を繰り広げた。その結果、六競技十二種目のうち八種目で優勝、その他種目においても好成績を収めた。成績の詳細は次のとおりである。

- 優勝**
 バレーボール部 男子Aチーム
 卓球部 男子団体
 卓球部 男子個人
 卓球部 女子団体
 卓球部 女子個人
 バドミントン部 男子
 バドミントン部 女子
 フットサル部 Aチーム
- 準優勝**
 バスケットボール部 男子
 バレーボール部 男子Bチーム
 卓球部 男子個人
 卓球部 女子個人
- 三位**
 バレーボール部 女子
 フットサル部 Bチーム
 軟式野球部



優勝 バレーボール部男子Aチーム



優勝 卓球部女子団体・個人



優勝 卓球部男子団体・個人



優勝 バドミントン部男子



優勝 バドミントン部女子



優勝 フットサル部Aチーム

全国高等学校ワープロ競技大会

六月二日(日)に向陽台高等学校において「全国高等学校ワープロ競技大会大阪府予選」が行われた。本校生徒は向陽台高等学校の代表選手として出場し、見事に優勝を果たして全国大会への六年連続出場を決めた。

この大会は高等学校における商業教育の一層の充実と振興を図り、商業を学ぶ生徒がそれぞれの技術を高めるために行われているもので、十分間で正確に何文字の入力ができるかを競う競技である。八月七日(水)に愛知県名古屋市の吹上ホールで行われた。各県の代表が集まる大会ということもあり、独特の雰囲気圧倒さ



令和元年度第66回全国高等学校ワープロ競技大会

NDK Fresh Contest 2019

七月十四日(日)、日本デザイン文化協会愛知県支部主催「NDK Fresh Contest 2019」が開催された。今年、「さあ、2020!日本の伝統美」というテーマでコンテストが実施された。

作品製作部門三八七点の応募の中から本校は十名が入選し、その内一名が入賞した。感性あふれる作品とランウェイを独自の創作でクールな表情・緩急を生かしウオーキングする九名も、センスのよさが輝いていた。



中日新聞社賞 入選

ヤマガクセイフティ パトロール結成
 本年度、本校は安城警察署防犯パートナーシップ校に選出され、四月十二日(金)に開催された委嘱式において、「Yamamoto Gakuen SAFETY PATROL」を結成し、地域の防犯意識高揚のため、防犯ボランティア活動を開始した。この活動では、防犯啓発チラシ配布や自転車盗被害防止活動「ロックの日」の実施に加え、本校の強みを活かして、知立市「七万人クリンサンデー」に使用されるゴミ袋のデザインや、特殊詐欺被害防止啓発のための「防犯カルタ」作成および高齢者の方々とのカルタ大会を実施する。今後も、地域の防犯意識高揚のため全力で活動していく。



振り込め詐欺防止啓発活動

伝統の体育祭

令和元年五月三十一日(金)、
「天衣無縫」ありのままの姿で、
をテーマに知立市草刈グラウンド
にて開催された。

二、三年生の体育祭執行委員は
昨年度の一月から集まり、生徒の
手で作り上げる体育祭という伝統
を引き継ぎ、テーマ「種目決定か
らルール作りと打ち合わせを重ね
た。

今年も天候に悩まされることも
なく男子十八クラス、女子十四ク
ラスが暑い天候の中優勝を目指
し、クラスが団結し戦った。男女
ともに学年に差はなく、最後の種
目まで目が離せない白熱した戦い
となった。

また、今年度は女子部の種目で
担任の先生にコスプレ衣装を着さ
せながら順位を競う「コスプレト
レイン」が復活し、なかなか見る
ことのできない担任の姿に生徒た
ちも大いに盛り上がった。今年も
クラスがオリジナルユニフォーム
を作成したこともあり、記憶に残
る最高の体育祭となった。

| | | |
|-----|-----|-------|
| 男子部 | 優勝 | 三年十四組 |
| | 準優勝 | 三年十六組 |
| | 三位 | 三年十三組 |
| 女子部 | 優勝 | 二年十一組 |
| | 準優勝 | 三年二組 |
| | 三位 | 一年三組 |

クラスユニフォームコンテスト

| | | |
|-----|-------|-------|
| 男子部 | 最優秀賞 | 一年十三組 |
| | 学年優秀賞 | 一年十五組 |
| | 学年優秀賞 | 二年十二組 |
| | 学年優秀賞 | 三年十三組 |
| 女子部 | 最優秀賞 | 三年一組 |
| | 学年優秀賞 | 二年二組 |
| | 学年優秀賞 | 二年二組 |
| | 学年優秀賞 | 三年五組 |



第2回 YG キャンプ

本年度の YG キャンプが、七月
三十一日(水)より二泊三日で長野県
南木曾町の蘭キヤンプ場で実施され
た。参加した二十七名は、野外炊飯
キャンプファイヤー、川遊び、五平
餅作り、絵のコースター作り、妻籠
宿散策など、限られた時間の中で日
常では経験できない盛りだくさんの
プログラムをこなした。残念ながら、
天候が悪く星空観察は中止になっ
たが、その分バンガローで仲間とゲ
ームをしたり、語り合ったり、それぞ
れ楽しい時間を過ごした。

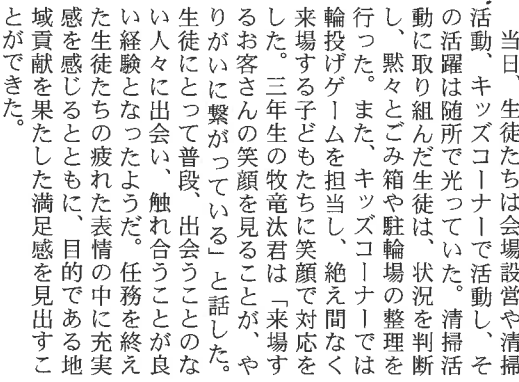
はじめは不安を抱えていた生徒も
いたが、自然の中で活動を通して
、自然の素晴らしさを実感し、仲
間と協力し合うことの大切さを学
び、地元の方々とも触れ合い、大き
く成長できた三日間となった。



知立よいこ祭り

八月二十四日
(土)、知立市提言
委員会の生徒十三
名が「知立よいと
こ祭り」にボラン
ティアスタッフと
して参加した。今
年で第二十回とな
る「よいとこ祭り」
は八月の恒例行事
で、知立市観光協会が主催する観光
事業最大のイベントである。路上総
踊りや吹奏楽・和太鼓・ダンスのス
テージ・大花火大会などで大きな盛
り上がりを見せている。

当日、生徒たちは会場設営や清掃
活動、キッズコーナーで活動し、そ
の活躍は随所で光っていた。清掃活
動に取り組んだ生徒は、状況を判断
し、黙々とゴミ箱や駐輪場の整理を
行った。また、キッズコーナーでは
輪投げゲームを担当し、絶え間なく
来場する子どもたちに笑顔で対応を
した。三年生の牧竜汰君は「来場す
るお客さんの笑顔を見ることが、や
りがいに繋がっている」と話した。
生徒にとっても普段、出会うことがな
い人々に出会い、触れ合うことが良
い経験となったようだ。任務を終え
た生徒たちの疲れた表情の中に充実
感を感じるとともに、目的である地
域貢献を果たした満足感を見出すこ
とができた。



山本学園二日体験入学

七月二十四日(水)、二十五日(木)、
二十六日(金)の三日間、県下一三四
校四九八名の中学生を迎え、山本学
園ホールをメイン会場として、二号
館、三号館において一日体験入学が
実施された。

今年度は六つの講座を設け、開講
された。フアッション講座は「サコッ
シ」でファッションの製作、スイー
ツ講座は「スフレパンケーキとパ
ルフェ」の調理・試食、CGアート講座
はペンタブレットを使い「イラスト」
の製作、アニメ講座は「キャラクター
イラスト」の製作、ゲームプログラ
ミング講座は「弾幕シューティング
ゲーム」の製作、ロボットの製作、ロ
ボット講座は「光センサーロボット」の
製作が行われた。どの講座も多くの
中学生が参加し、大盛況であった。
二学期には体験入学・見学会が
四回にわたって実施される予定だ。さ
らに魅力ある内容で中学生を迎え入
れた。



第二十二回ヤマガク PC入力スピード認定

今年度も、七月
二十三日(火)、一
日体験入学とは別
に「第二十二回ヤ
マガクPC入力ス
ピード認定」が行
われた。昨年を上
回る五十校五六一
名の中学生が県下
から集まり、同認
定試験の定着ぶりが窺われた。
また認定試験において、十分間で
最も多く文字を入力した生徒は一五
三九点を獲得した。コンテストの部
も行っており、今年度は三十六校
一〇二チームが参加した。

個人戦結果
優勝 一五三九点 (三年生)
準優勝 一五三七点 (三年生)
三位 一四〇六点 (二年生)

団体戦結果
優勝 名古屋市立有松中学校 A
準優勝 大府市立大府西中学校 A
三位 岡崎市立福岡中学校 A

第二十七回 山本学園 ファッション画コンテスト

本校主催、三河教育研究会・知立
市教育委員会・中日新聞社後援の
「第二十七回山本学園ファッション
画コンテスト」の応募は九月二日締
め切られた。

このコンテストは、中学生が創作
したファッション画をもとに、本校
生徒が実際に作品を製作するもの
で、地域の若い才能を育てることを
ねらいとしている。
本年度は県内外の中学校六十二校
から三百四十点の応募があった。作
品はいずれも若い感性があふれた力
作ぞろいであった。製作した作品は
十月二十六日(土)のオープンキャン
パス(学園祭)のファッションショー
で披露される。コンテストの入賞者
は次のとおりである。

最優秀賞・中日新聞社賞
知立中 永田 知子

優秀賞
名南中 鈴木 心
大高中 藤吉 寛菜
甲山中 原 寧音
矢作北中 松本 沙莉
鳳来中 岡村 華
古知野中 安井 晴香
住 作 細井美那(矢作北中)、鈴木
斐加里(刈谷東中)、市古光音(富士
松中)、鎌田珠愛(上郷中)、谷梨紗
子(美里中)、口田桃歌(東山中)、田
中海美(豊岡中)、棚橋和音(鳴海中)、
橋本万莉菜(白進西中)、山元ゆめ花
(長久手南中)、藤井萌(大阪教育大
学附属池田中)

第七回スイーツレシピコンテスト
今年で七回目となるス
イーツレシピコンテスト
が、中学生を対象に開催
された。今年はお茶を
使ったスイーツをテー
マに、県下二十八校三三四
作品の応募があり、色鮮やかで独創
性ある作品が数多く集まった。
入賞者は次の通りである。
最優秀賞並びに中日新聞社賞
「茶・cra・ちや」
仲島 清乃(刈谷東中)
優秀賞
「ルイボスとまっちゃんのだら焼き」
川路 陽輝(朝日中)
「抹茶のホットケーキ」
橋口 悠海(平坂中)
アイディア賞
「抹茶と柚子の米粉ケーキ」
芳村 真美(鳴海中)
「抹茶ボール」お茶丸くん」
山口 雅樹(名和中)

先輩からのメッセージ 活躍する卒業生

自分のやりたいことのために

フアッションデザイン科卒
神田 真奈



私は、自力で考え
たデザインを自分の
力で形にできるよう
になるために中部
フアッション専門学
校へ進学しました。
学校では実際に美術館へ行きデザ
インを学んだり、定点観測といっ
て、一年を通してお店を観察し、素材や色
柄などどんなものが流行しているの
かを調べたりします。毎日の授業も
覚えることが多く、スピードも早い
ため、とても大変ですが自分に力がつ
いていくのが分かるのでとても楽し
い授業です。またセミナーや特別講
師の授業など、より専門的なことも学
ぶことができ、毎日の生活を大事に
し、自分の将来に生かせるように
日々を大事にしています。

目標に向かって

調理師科卒
野畑 美優



私は山本学園高等
課程を卒業後、より
深く製菓につかっ
た力をつけてきた
為、中部製菓専門学
校へ進学しました。
中部製菓での新しい生活は充実し
て楽しい毎日を送っています。
授業内容は高等課程で学ん
だこともあるの復習になることも
ありますが、製菓の新しい科目も増
え、実習数も多い週四日あり、
内容も難しくなりました。また、就
職活動も先生方のサポートを受けな
がら動いています。
高等課程での三年間があったから
今の私があります。だから在学中に
は卒業後悔いのないような生活を過
ごし、沢山のことを学び、自分の将
来に生かしてほしいです。

自分の人生を選ぶために

女子ビジネス科卒
虫明 沙恵



私は高等課程を卒
業したのち、専門課
程へ進学しました。
今は高等課程で学ん
だ知識を活かして、
様々なプログラ
ム言語や国家資格の応用情報技術者
の勉強をしています。また、民間資
格もいくつか受験し、着実に力をつ
けていることを実感しています。
資格試験の受験は自由です。勉
強方法から就職活動まで様々なこと
が自分次第で、自分の人生を自分で
責任を持って選んでいく感覚があり
ます。自分の人生を自分で選べる様
な高等課程の皆さんには夢や目標を探
してほしいです。無駄なものは何も
ありません。貪欲に学び、吸収し、
自分の糧にしてほしいです。

専門課程へ進学して

男子ビジネス科卒
蜂須賀健太



私は山本学園の高
等課程を卒業後、専
門課程の情報ライセ
ンスコースへ進学し
ました。専門的な授
業になり、毎日新しい知識や技術が
身につけていくのを実感していま
す。クラスのほとんどが高等課程か
ら進学してきた人なので、楽しい学
校生活を送ることができています。
今、私は十月に受験する応用情報
の合格に向けて勉強しています。と
ても難しい試験ですが、友人と協力
して全員で合格できるよう努力して
います。

高校での学びを生かして

男子ビジネス科卒
前田 悠稀



私は、山本学園高
等課程を卒業し、日
本福祉大学経済学部
に進学しました。大
学では、簿記や経済
学を学んでいます。入学当時は勉強
についていけるか不安でしたが、山
本学園で学んだことが生かせる教科
が多いので、とても良い環境で勉強
に励んでいます。
大学生活は山本学園での生活とは
違い、自由な時間が多いので趣味と
バイトなどやりたいことが沢山でき
ます。その中でどれだけ成長させら
れるかが大学生活の鍵だと思っています。
皆さんは、山本学園での勉強を怠
らさず、残りの学園生活を過ごして
ください。

社会人になること

男子ビジネス科卒
リッキー・ウィリアム・デニス



私は、山本学園の
高等課程を卒業し、
アイシン・エイ・ダ
ブリュ株式会社に入
職しました。
会社では、製造課に配属されまし
た。主に、加工不良のドライブギア
という部品に傷や不良がないか検査
しています。不良を見逃すと得意先
に流出してしまうことになるので、
とても重要な仕事です。集中力がと
ても必要だったり、心身とても疲れ
たりするけど、社会人はみんなそれ
を乗り越えて給料を貰っています。
普段の高校生活から、何事にも集中
できるように意識して行動しましょ
う。

専門課程姉妹校だより

中部フアッション専門学校

今年度、八月三日(土)の体験入学
では、「在校生とのトークセッション」
という新しい試みにチャレンジし
た。日々どのような勉強をしている
のか? 普段の生活はどのようなもの
か? 等在校生と自由に話をし、疑問
点を聞いてみようという企画だ。当
日は軽食とスイーツ、ドリンクを参
加者と一緒に食べながら気軽にお
しゃべりし、準備したインスタ映え
スポットでの撮影等を楽しんでも
らった。
また、今年度の外部コンテストで
は、二年生が大活躍だ。YKKファ
ッションコンテスト、TOKYO新人
デザインフアッション大賞と名だ
たるコンテストの一次審査を通
し、現在熱心に作品作りに取り掛
かっている。

中部製菓専門学校

毎年恒例の中部洋菓子技術コンテ
ストが行われ、洋菓子科の学生が、
シユカークラフト持込の部で第三、
四、九位の栄誉に輝いた。五年連続
の入賞であり、今年度も全体で九名
の成果を挙げた。
製菓衛生師科の学生についても、
国家資格である「製菓衛生師」の試
験において、五年連続一〇〇%合格
の達成が間近である。
そして、中部製菓の強みである全
員が製菓業界への就職を目指して、
順調に進路を決定している。
和洋菓子店、ホテル、ブライダル、
レストラン、カフェ、パン屋、製菓
工場等、多くの選択肢がある中、学
生一人ひとりの希望や適性に徹底的
に寄り添い、その夢を叶えるために
指導している。

山本学園情報文化

専門学校校専門課程

○IT企業向け資格への対応

| | |
|----------------|---|
| 今年度よりピアソンVUE試験 | センターの会場となり、Java、データベース、ネットワークなどの社会人向けの資格が本校で受験可能となった。 |
| 今年度の主な検定試験結果 | |
| 応用情報技術者試験 | 二名 |
| ITパスポート試験 | 二名 |
| MOS試験 | 二五名 |
| MTAネットワーク | 三名 |
| オラクル認定Java | 二名 |
| Java認定試験 | 八名 |
| フォトショップ試験 | 十四名 |
| イラストレーター試験 | 十五名 |
| Webクリエイター | 二二名 |
| 日商シスエータ | 十四名 |
| 情報システム試験 | 三十九名 |
| ビジネス能力検定 | 二十七名 |